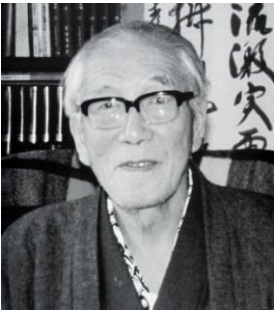


<p>北條 秀一</p>	<p>満州・朝鮮からの「引揚者団体全国連合会」を結成し引揚者の救済に尽力 参議院議員、衆議院議員を歴任。</p>
<p>42回生 大正13年卒</p> 	<p>1905年(明治38年)兵庫県豊岡市竹野町で代々続いた宮大工の家に生まれる。 小学校の頃より成績優秀で、父より「大工は弟に継がせるのでお前は商業を 学び金儲けの道に進め」と云われ県商へ。県商では予科2年、本科4年の6年制をとって いた最後の卒業生であり、東京商科大学予科の最初の入学生である。 東京商大卒業後、日本最初のシンクタンクといわれた南満州鉄道調査部に入り「北條 を知らないやつは満鉄のモグリだ」といわれるほど活躍した。 昭和20年、戦後は満州・朝鮮からの引揚者たちを救済するために「引揚者団体 全国連合会」を結成し理事長として救済資金獲得のために政治交渉を開始。 しかし、交渉が進まず遂には参議院議員となり更に強力な運動の結果、引揚者への 救済金の給付を実現した。 その後、衆議院議員を歴任し、引退後は郷土の竹野町に戻り、母校の竹野小学校に 「負けじ魂基金」を創設するなどの社会貢献に勤めた。 1992年 没 追記 竹野小学校には「北條秀一先生の碑」が建立されている。</p>